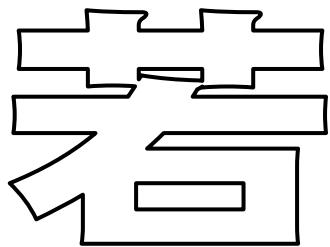
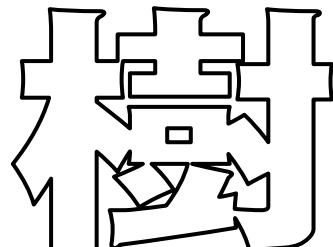


W A K A



G I



校訓：伸びていく 教育目標：自立力・社会力

第1号



「昇降口」の桜

杉並区立東田中学校

東京都杉並区成田東3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

「時」を刻む1年間に

校長 小松崎

校門の桜が満開の装いで新入生を歓迎していました。今年度は通常の学級に95名の1年生を迎える、全校生徒306名、各学年3学級の9学級、通級指導学級3学級でのスタートとなりました。

今年度は創立から70年目、東田中学校にとっても大きな節目となる1年間です。そのことをふまえ、生徒の皆さんには、今年度は「時を刻む」1年間であってほしいと思います。時間というものは、何もしなくても流れていってしまいます。時には、その流れに身を任せることが必要な時もあるかとは思いますが、心身ともに成長の過程である中学生の皆さんには、意志をもって時間の流れの中でいろいろなことに取り組んでいってほしいと思います。一時一時を大切にする。時に流されるのではなく、時の流れを受け入れてその中にいる自分の行動をコントロールしていかなければなりません。つまり、今、何を取り組むべきであるかを考えて生活していくということです。そのことの積み重ねが「時を刻む」ということにつながっていくのではないかでしょうか。義務教育の9年間を終えて、中学校を卒業していく時に、「私はこのことを努力した」「私はこの部分が成長した」と実感できる中学校生活を過ごすことが大切です。さらに社会人となった時に、自分にとっての中学校時代の意義を見いだせるように、今この時をしっかりと過ごしてほしいと思います。卒業生や保護者の方々と話をした時に「中学校の3年間はあつという間でした」という言葉をよく聞きます。それは充実の証であるとともに、一時一時の大切さをその時その時に実感して取り組む、「時を刻む」ということの重要性の現れでもあります。また、時を刻む中で将来社会人として必要となる力、学校の教育目標である「自立力・

社会力」を身に付けられるように取り組んで行ってください。

生徒の主体的な成長をサポートする立場である私たち大人には、生徒一人一人が安心して時を刻んでいける教育環境を創っていく責任があります。しかし、時に、その環境を壊すような事態の起こることがあります。学校での良好な環境を壊す要因となり得るもの一つに、生徒の人間関係における「いじめ」があります。正しい人間関係を構築していく力は、社会人になった時に必要となるとても重要なものです。自分の周りの人の時の刻みを奪ってしまうことは、決してあってはいけません。生徒一人一人が安心してそれぞれの時を刻み、その集合体として、東田中学校の時が刻まれていく。そのことを根底に置いて、平成29年度の学校運営を考えていきたいと思っています。また、各御家庭においても、年度の始まりとなるこの時期に、お子様との関わり方についてもう一度考え、家庭での時の刻み方についてお子様と話し合っていたいと思います。

創立から70年を迎える今年度、10月から本校は「地域運営学校(コミュニティースクール)として新たなスタートをきることとなります。皆様方の御意見をさらに取り入れた学校運営を、地域と共に推進してまいりますので、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対するより一層の御理解と御協力を願いいたします。



正門の春の装い

平成 29 年度 教職員一覧

	職名	氏名	教科等	
1	校長	小松崎 浩	経営	
2	副校長	安島 晋	経営	
3	主幹教諭	堤 智一	技術	2A担任
4	主幹教諭	三田 秀雄	理科	1年副担
5	主幹教諭	本田 雅子	国語	2C担任
6	主任教諭	黒木 英寿	社会	3C担任
7	主任教諭	丸田 侑介	数学	3A担任
8	主任教諭	小池 林太郎	数学	1A担任
9	主任教諭	宮本 裕	数学	2B担任
10	主任教諭	田中 充	理科	3年副担
11	主任教諭	大羽 美由紀	英語	1C担任
12	主任養護教諭	細川 聖子	養護	1年副担
19	主任教諭	磯部 進一	保体	通級主任
20	主任教諭	土屋 充子	音楽	通級
21	教諭	渡邊 訓子	国語	1B担任
13	教諭	村岡 美子	社会	2年副担
14	教諭	小澤 瑞穂	音楽	1年副担
15	教諭	杉政 華子	音楽	育休中
16	教諭	大西 法子	保体	3B担任
17	教諭	下島 陸矢	保体	2年副担
18	教諭	梅木 千紘	英語	3年副担
22	教諭	坪井 康行	理科	通級
23	教諭	千葉 なつみ	音楽	通級
24	非常勤教員	吉成 幹雄	美術	3年副担
25	非常勤教員	伴 知明	保体	2年副担
26	時間講師	久保 恭史	数学	
27	時間講師	富永 友起子	家庭	
28	時間講師	スマス 志延	通級	
29	時間講師	横森 真里	通級	
30	スクールカウンセラー	青島 由美	教育相談	
31	学校司書	中野 恵奈	図書	
32	補助教員	森本 栄子	英語	
33	都主查	谷野 清隆	事務	
34	都栄養士	小野 ひろみ	栄養士	
35	区嘱託員	富平 光代	事務	
36	区嘱託員	加藤 智子	事務	
37	技能主任	野牧 聖史	用務	
38	技能主任	藤田 直喜	用務	
39	技能主任	吉岡 和代	用務	

教職員の異動等 (敬称略)

<u>お世話になりました</u>				
<u>退職・任期終了等職員</u>				
主任教諭	田中 充	理科	定年退職再任用	
非常勤講師	久保田 裕介	社会	任期終了	
非常勤講師	利穂 美英子	数学	任期終了	
非常勤講師	林 泰弘	理科	任期終了	
非常勤講師	熊谷 美佳	保体	任期終了	
非常勤講師	高屋 美登里	家庭	任期終了	
学校司書	筒井 彩	図書	任期終了	
再任用	榮 由美子	用務	退職	
再任用	佐藤 真理子	用務	退職	
<u>転出職員</u>				
主任教諭	鈴木 ひとみ	美術		
主任養護教諭	久米 裕子	保健		
教諭	清水 隆光	社会		
教諭	新田 亮	保体		
教諭	百瀬 恵子	通級		
非常勤教員	藤森 真保子	英語		
嘱託員	伊藤 恵	事務		
<u>よろしくお願ひします</u>				
主任養護教諭	細川 聖子	保健		
教諭	村岡 美子	社会		
教諭	下島 陸矢	保体		
教諭	千葉 なつみ	通級		
非常勤教員	吉成 幹雄	美術		
非常勤教員	伴 知明	保体		
補助教員	森本 栄子	英語		
学校司書	中野 恵奈	図書		
非常勤講師	久保 恭史	数学		
非常勤講師	富永 友起子	家庭		
嘱託員	富平 光代	事務		
嘱託員	加藤 智子	事務		
主任	藤田 直喜	用務		
再任用	吉岡 和代	用務		

在籍生徒数 平成 29 年 4 月 7 日現在

	1A	1B	1C	小計	2A	2B	2C	小計	3A	3B	3C	小計	総計
男子	17	17	18	52	20	22	21	63	22	22	22	66	181
女子	14	15	14	43	15	13	16	44	13	13	12	38	125
計	31	32	32	95	35	35	37	107	35	35	34	104	306

誓いの言葉

善福寺川沿いに咲く満開の桜は、私たちの入学を祝ってくれているかのようですね。

今日、私たち九十五名は、東田中学校の生徒として第一歩を踏み出しました。

私が中学校生活で楽しみにしていることは、フレンドシップスクールと合唱コンクールです。フレンドシップスクールは、新しい友達がたくさんできると思うのでとても楽しみです。そして、クラスや学年のみんなと仲良くしたいです。合唱コンクールは、クラスごとに団結し、一丸となって取り組むことができる行事と聞いています。クラスのみんなと目標に向かって練習することにより絆を深めていけると思います。

これに対しても不安なことは、勉強です。科目が増え、一つ一つの教科が難しくなると思います。分からぬことをそのままにせず、先生に質問していきたいです。定期考査は初めてのことなので不安ですが、一方でどのようなもののか楽しみでもあります。しっかりと努力して、結果を出せるように取り組みたいです。

私が中学生になって、頑張りたいことは、自己管理です。中学生になると部活が始まり、今より忙しくなると思います。そのため、しっかりと体調管理しながら時間を上手に使いたいです。

これからこの東田中学校で学ぶ三年間、私たち新入生は共に助け合い、成長できる関係になりたいです。そして、大切な思い出をたくさんつくりたいです。

いつも私たちを見守り、応援してくださる地域の方々、東田中学校の先生方、先輩方、ご指導よろしくお願ひします。

平成二十九年四月七日 新入生代表 和田 紗奈

歓迎の言葉

善福寺川の桜の花が空に映え、まるで皆さんを祝福しているようです。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、皆さんが東田中学校に入学してくださったことを在校生一同、心より嬉しく思います。はじめて東田中の標準服に袖をとおしたとき、どのようなことを感じたでしょうか。きっと、中学生になることへの楽しみや期待、緊張や不安など、様々な気持ちを抱いていることでしょう。新入生の皆さんには、六年間の小学校生活を終え、今日から三年間中学生として生活をしていきます。

私は、慣れることや分からないことがあると思います。そんなときは、まずは、慣れないことや分からないことなどがあると思います。そんなときは、私たち上級生や先生方にいつでも気軽に話してください。私たちも、喜んで皆さんに精一杯のサポートをしていきます。また、新入生の皆さんには今、周りにいる同級生たちと仲良くなれるか不安を抱いていることでしょう。私たちも、入学した当初は、不安で胸が一杯でした。しかし、運動会や合唱コンクールなどの学校行事を通して、友達とともに仲良くなれました。中学生にとって友達は、一番の宝物ですから、三年間で育んだ友情や絆はいつまでも大切にしてほしいと思います。

さて、東田中学校は、あいさつがしっかりできる学校と言われています。どんな時でもあいさつをすると良い気持ちになりますし、相手もうれしくなります。また、あいさつを通じて同級生同士とだけでなく、上級生と下級生の心の輪までもつなぐことができます。あいさつは、魔法の言葉なのです。

もう一つ、東田中学校は他校と比べて緑が多い所です。特に中庭は、木々に囲まれているため、気持ちを落ち着かせたり、友達と話をしたりするのにとても良いところです。皆さんの中学校生活に少しでも早く慣れて、充実した中学校生活を送っていただけたらと思います。一緒に新しい東田中学校を作つていきましょう。

最後に、新入生の皆さんが東田中生として多くの場面で活躍してくださることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成二十九年四月七日 在校生代表 藤崎 蘭